

ニホンアカガエル

Rana japonica japonica

種名



分類	無尾目アカガエル科アカガエル属
俗称	アカガエル
形態的な特徴	体長は、オス4～5cm、メス5～7cm。体背面は、あざやかな橙色から赤褐色まで変異がある。一对の背側線はほぼ平行で、鼓膜の後でほとんど曲がらない。オスでも鳴のうがないため、鳴き声は小さい。幼生は背面に一对の黒点がある。
分布	本州、四国、九州、隠岐、大隈諸島に分布する。(八丈島には人為移入)
繁殖行動	早春に繁殖を開始するカエルであり、暖かい場所では1月下旬、北国では4月頃に繁殖が行なわれる。繁殖場所は、早春でも水が溜まっているような湿田や湿地などで、日当たりの良い浅い止水に産卵する。卵塊は黒い卵の入ったゼリー状の塊りで、一度に産み出される。両種の卵塊とも押しつぶしたような球形をしているが、卵塊はヤ弾力性がある。産卵を終えた成体は春眠し、5月頃から再び活動を開始する。卵から孵化した幼生は初夏に変態し、上陸する。成体や上陸した幼体は、繁殖場所近くの草むらや森林の林床で昆虫やミミズなどを食べて生活し、冬季は落ち葉の下や水底の泥の中で冬眠する。成熟まで1～2年かかる。
生息場所	おもに低地から丘陵地に生息し、山地には少ない。
食性	昆虫やミミズなどを食べる。
生息環境への配慮事項	近年の乾田化に伴い、産卵時期である早春に水田に水が溜っているような湿田は激減している。そのため本種の繁殖場所が失われ、各地で個体数が減少している。両種とも早春に産卵することから、この時期に安定した浅い水域があることがある必要がある。

引用文献：http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変